

取組の概要

対象畜種

採卵鶏

協議会構成員

新潟市北区畜産農家、村上市耕種生産組織
(特別会員) 村上市、新潟市北区、にいがた岩船農業協
同組合、豊栄農業協同組合、新潟県村上地域振興局、新
潟地域振興局

飼料用米生産面積

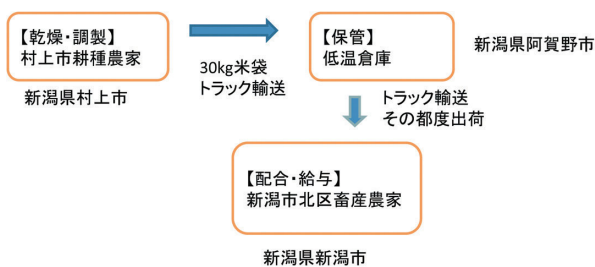
6.4ha

供試品種

夢あおば 6.4ha

取組内容

① 飼料用米の流通、保管、調製に係る実証調査



- ◆ 主食用米との区分を図るため、生産者は会員（生産組織）に限定した栽培。
- ◆ 収穫物は個々の農家で乾燥調製後、低温倉庫に保管。
- ◆ J A 北蒲みなみ京ヶ瀬低温米穀保管庫から畜産農家までの移送は、畜産農家自らが実施。

② 飼料用米の給与による家畜・畜産物への影響調査
(畜産物の成分分析を含む)

試験設計：採卵鶏(概ね210日齢)に対して、自家配合飼料のうち、トウモロコシを全量飼料米に代替した飼料を給与。

概ね210日齢から概ね340日齢まで給与。

調査項目：卵殻強度、ハウユニット、卵黄色、卵の水分、タンパク質、脂質、灰分、炭水化物、エネルギー、脂肪酸組成、コレステロール

取組によってわかったこと

1. 調製・保管・流通について、次のことがわかりました。

- 乾燥・調製を耕種農家が実施したため、秋作業が集中し労働過重の傾向となった。
- トウモロコシ価格と比較し、高くなる要因として乾燥・調製に経費がかかる。その対応策として、粉末での給与、フレコンバックの利用を検討する必要があると思われる。

2. 家畜・畜産物への影響について、次のことがわかりました。

- 飼料用米の嗜好性は良好で、摂取量についてはトウモロコシと同量と思われる。
- また、産卵率への影響はないと思われる。
- 卵黄色以外の卵殻強度、ハウユニットはトウモロコシを使用する自家配合飼料よりも高い数値となった。
- 卵中のコレステロール値は、飼料用米全量代替自家配合飼料の給与前後で、給与後のほうが数値が増加した。
- 卵中のリノール酸などn-6系多価不飽和脂肪酸含有率は給与前後で低下した。
- 飼料用米を給与し生産された卵を直接販売している顧客からは、卵黄色の低下に関するクレームはなく、むしろ「卵白が濃厚になった」「味がよくなった」等の好意的な意見が多く寄せられている。

3. 今後の飼料用米の取組予定などについて

- 飼料用米を給与するようになり、卵質が1ランクアップしたように感じている。今年は給与内容等を検討し、より一層のレベルアップを図りたい。(新潟市 A 養鶏農家)
- 運搬や保管の方法を検討し、さらなるコストダウンに努めたい。(新潟市 B 養鶏農家)
- 飼料用米を利用した畜産物の認知度を高めるための活動にも取り組んでいきたい。(新潟市 B 養鶏農家)
- 今年は収量アップを目指したい。(村上市 A 生産組織)
- 飼料用米を収穫した後の稲ワラについても粗飼料として利用でき、飼料自給率向上に貢献できたことは取組の大きなメリット。(村上市 B 生産組織)
- 新たに生産組織及び利用養鶏農家が増加し取組が拡大したことから、今後ともこの取組が長く続いていくよう期待し

ている。(普及センター)

参考データ・写真等



運搬時荷姿



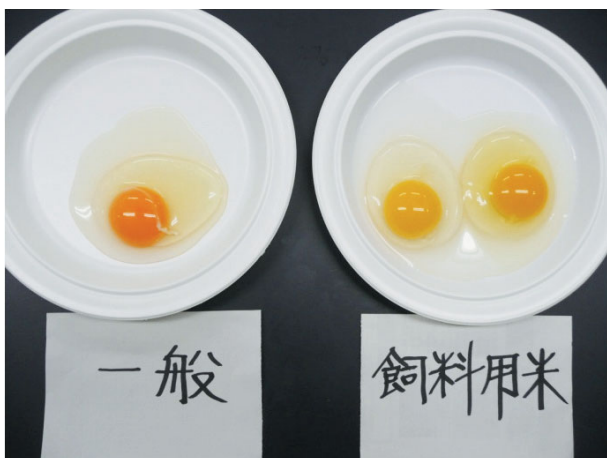
搬入後の飼料米



飼料米給与風景



低温保管施設での貯蔵



卵黄色の比較